

## 東アジア文化論講読Ⅰ

2 units (selection) 2nd-year(1st semester)

Takuya Arima · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

**Target)** 中国古代の思想・文学関係の基礎文献を講読しながら、中国文化を考えていこうとするものである。漢文を読むための基礎知識を伝えることももちろんだが、メインは文化理解の方に置いている。本年度は中国の不思議小説を集める『太平広記』の中から、巻131 報応三十と巻133 報応三十二を読む予定。

**Outline)** 小説からさぐる思想・文化

**Keyword)** 志怪小説, 伝奇小説, 中国文化

**Notice)** 演習の形式をとるので、全員が担当することを前提とする。したがって、最高25名を限度としたい。最初に参加者の担当を決め、発表当日までに予習チェックを行うことを義務づける(授業の時、誤読の訂正の為に時間を浪費することをさけるため)。

**Goal)** 漢文(白文)に対する基礎理解(慣れ)と、中国文化の理解を通して、人間の普遍的な理解を試み得る目を持つこと。

**Schedule)**

1. 巻131 報応三十と巻133 報応三十二は因果応報にまつわる怪奇現象譚を26話と22話掲載する。本年度は報応三十のすべてと、報応三十二の一部を読む予定である。
2. 毎回3話程度を読んでいく。

**Evaluation Criteria)** 演習形式で行うので、出席点と担当の出来具合を総合して評価する。出席は一回につき3点。担当の出席は100点から出席点(授業回数×3)を引いた数字が満点となる。欠席する場合、あらかじめ連絡を入れること。連絡があった場合の欠席と無断欠席とは評価が異なるので注意。詳細は第一回目の講義の時に連絡する。

**Re-evaluation)** 行わない

**Textbook)** 特に教科書・参考書として指定するものはないが、以下の文献は授業理解の手助けとなろう。竹田晃『搜神記』(平凡社・東洋文庫)、今村与志雄『唐宋伝奇集(上下)』(岩波文庫)、陳舜臣『ものがたり唐代伝奇』(朝日文庫)、今村与志雄『酉陽雜俎(1~5)』(平凡社・東洋文庫)

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218956>

**Contact)**

⇒ Arima (+81-88-656-7119, [arima@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:arima@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (Office Hour: 随時)